ﾋﾄﾒﾀﾆｭｰﾓｳｲﾙｽ抗原検査	8129900
	担当部署
hMPV	微生物

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		該当なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*7.特殊細菌→
	2	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		診断に際しては、他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断すること。
検査受付時間		緊急対応（24 時間）

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	該当なし
検体採取の特別なタイミング	特になし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	鼻腔	細菌　綿棒 7	なし		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温 採取後直ちに提出
検体受入不可基準	1）検査ラベルがない検体 2）専用の綿棒以外で採取された検体 3）乾燥した検体
保管検体の保存期間	保存不可

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部				
測定時間	当日中				
生物学的基準範囲	陰性（－）				
臨床判断値	該当なし				
基準値				単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因	該当なし				
臨床的意義	小児の呼吸器感染症患者より発見され、原因不明とされていた呼吸器感染症の約半数が明らかになった。飛沫感染や喀痰、鼻汁の接触感染により鼻粘膜に感染する。小児のウイルスによる呼吸器感染症の 5～10%が hMPV が原因であり、多くは 1 週間程度で回復するが、再感染を頻繁に起こす。成人においても呼吸器感染症の 2～4%が hMPV が原因であり、乳幼児や高齢者では重症となることがあり、細気管支炎や肺炎などを発症する。 「 JAMT 技術教本シリーズ　臨床微生物検査技術教本　2017 年」				